

# 江の川流域整備 十分に

## 党県議団、向瀬氏らが県に要請

日本共産党県議団は7月29日、大雨による江の川の氾濫(14日)で被災した住民や事業者、農業者から寄せられた要望を受け、県に対し、被災者の生活再建支援ととも



に、防災・減災事業を強化し、安心できる県土づくりを進めるよう要請しました。(写真) 床上・床下浸水や農地などの被害を受けた江津市の森川佳英、多田伸治の両市議や向瀬慎一西部地区委員長らが同席しました。尾村利成、大國陽介の両県議は「江の川上流に比べて、下流域の整備は不十分。2年前の西日本豪雨と同様、今回も未整備地区が被災した」と指

摘。国に堤防整備や水防事業の予算増額を求めるとともに、県の河川整備、砂防関係予算の増額を要求しました。

参加者は「2年で再び浸水し、住民はショックを受けている。江の川支流の堤防整備とバックウオーター対策を早急に進めてほしい」と被災した設備・機械の修理や農地等の復旧への実効ある支援

### 江津、川本、美郷の3市町に義援金

日本共産党の向瀬慎一西部地区委員長(衆院島根2区)と尾村利成、大國陽介の両県議は20

策を」と強調し、「県の被災者生活再建支援制度のさらなる拡充など、被災者が希望を持てる施策を講じてほしい」と訴えました。

松尾紳次副知事は「生活復旧に必要な家電や家具の購入・修理費に最大60万円を支援する補正予算を措置した。生活や事業が続けられるよう取り組む」と応じました。

日、江の川が豪雨で氾濫し、2年前の西日本豪雨のときと同じ地域で浸水被害が発生した江津市、

### いま核兵器なくするとき

#### 松原水協、新婦人が「平和の波」行動

原爆が広島に投下された6日午前8時15分を起点に、長崎に投下され



た9日午前11時2分まで世界各地で草の根で行われる「平和の波」行動が6日早朝、県庁前で取り組まれました。原水爆禁止島根県協議会、新日本婦人の会の共催で45人が参加しました。

参加者は原爆投下時刻の午前8時15分に黙とう。「なくせよう！核兵器」などと書かれた横断幕やプラスターを掲げて核兵器廃絶への願いをアピールしました。

9日には、午前10時〜11時まで松江市の洞光寺で、県立広島第一高等女学校1年生だった1945年8月6日に同級生223人が被爆し、亡くなった体験を語り続け

ている西尾幸子さん(88)のお話や、西尾さんの体験を基にした朗読劇

### PCRなど検査広く

#### 雲南 上代市議が市に緊急要請

雲南市で市役所職員3名の新型コロナウイルス感染症が確認(7月22、24日)されたことを受け、日本共産党雲南市委員会が7月29日、市に対し、PCRなど検査の拡充を求める緊急の申し入れを行いました。

上代和美委員長(市議)は「市役所職員に感染者が出たことで市民の不安は深刻さを増している」と指摘。市が、濃厚接触の可能性の高い市役所3階の職員に絞って検査する方針をすぐに改め、本庁舎全職員・議員、市役

「さあちやんとヒロシマ」の披露があり、平和の鐘が鳴らされました。

所を訪れた市民で申し出のあった人へのPCR検査を直ちに実施したこと

を評価しつつ、さらに「完全のとりくみが求められる」として▽感染が心配な人すべての検査▽一度「陰性」でも再度検査▽受診抑制などで減収に直面している医療機関への財政支援▽マスクなど医療防護具や医療資材の確保―など6項目を要望しました。

応じた狩野明芳健康福祉部長は「職員については健康状態を見て対応する」と答えました。

### 地域の話題

#### 雲南 新型コロナ対策 健康福祉分野

妊婦支援給付事業(新規)：4680万円  
感染症予防の衛生資材購入のためとして、今年1月1日時点で妊婦の届出を行っている妊婦及び本年中に妊娠の届出を行った妊婦1人につき、2万円の給付金が支給。

障がい者総合支援法施行事業：780万円  
感染症に不安を感じている在宅障がい者等を相談支援事業の相談員が訪問し、安否確認するもの。  
意思疎通支援事業：100万円  
感染症拡大防止のため、聴覚障がい者が病院を受

### アムロ

#### 江津 地区避難所の確保を 多田議員が質問

多田議員「市は「災害時の避難における新型コロナウイルス感染症対策方針」で、指定避難所での3密回避のため、一般世帯を臨時の避難所とする「地区避難所」を設けるとしている。地域との協議や家屋の選定、物資配備は進んでいるのか。

総務課長「昨年

だきます」と謝意を述べました。美郷町の嘉戸隆町長は「1級河川の江の川水系の治水事業は自

治体では手に負えない。国の治水事業費の大幅増額を強く要望します」と語りました。

日本共産党中央委員会は「このほど、「新型コロナQ&A」(第5弾)を発表しました。(日本共産党のホームページからダウンロードできます)

新型コロナ Q&A 第5弾

PCR拡大で 感染広げない

日本共産党

日本共産党の志位和夫委員長が7月28日に、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するため、政府におこなった「緊急申し入れ」が実効を期しています。自民党議員もきめた超党派(医師会議員の会)(8月6日)で賛同意見も出された。市民的な運動にするため、各にポイントなのが、Q&Aで考えました。

新型コロナ危機打開へ、たしかに情報 江津市 3,497円  
しんぶん赤旗をあなたも 江津市 930円

用している桜江町川越では13カ所を認定。分散避難のため、川越以外にも説明し、普及を図っている。「(多田伸治の市議会だより)より」

#### 美郷 高齢者の介護予防策を 中原議員が要求

中原議員「公民館行事が相次いで中止となり、自宅にこもることやうつ状態や運動機能低下の高齢者もいる。どう対応するか検討が必要。

嘉戸町長「外出自粛による心身の機能低下が危惧される。6月から町内14カ所でICTを活用した認知症予防教室やリハビリ専門職による運動教室など、運動不足・介護予防に重点を置いた4つの健康教室を順次実施。(中原保彦の議会報告)より」